

新技術棟建設のお知らせ

～多様な技術・知見・価値観を融合し、新たな価値創造を加速する共創プラットフォーム～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）はこのたび研究開発および技術人材の育成環境の充実を目的として、新技術棟を建設することを決定しましたのでお知らせします。

当社では、昨年 2 月に公表した「[2024-26年度中期経営計画アップデート](#)」の通り、「社会課題へのソリューション提供」を経営戦略の一つとして位置づけ、資源循環型モノづくりの進化と、新技術開発を積極的に進めています。これらの取り組みをさらに加速し、「環境に一番やさしい鉄屋」としてこれからも「世のため、人のため」「仲間のため」にお役に立ち続けるために、新たな価値創造を推進する拠点として新技術棟を建設します。

自動車産業をはじめとする経営環境が大きく変化し、社会からの期待がいっそう高まる中、これまで培ってきた特殊鋼、鍛造、ステンレス、スマート製品の技術と知見を結集し、開発プロセス改革を推進します。新技術棟を技術共創の中核拠点として位置づけ、次世代材料や生産プロセス、DX 活用などの研究開発を加速するとともに、新たなソリューションとして提供することで、持続的な成長と社会課題の解決に貢献していきます。

また、「人を大切にする経営」のもと、若手からベテランまで、全ての人材の成長に資する環境を整え、部門を超えた技術交流や実践的な学びの場として活用します。さらに、省エネルギー設備の導入や環境に配慮した施設設計を通じて、カーボンニュートラルに貢献する技術開発も推進します。

愛知製鋼は今後も、研究開発力、人材力、環境対応力の強化を通じて企業価値向上を図るとともに、「よき社会は、よき素材から。」というミッション実現のため、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

新技術棟イメージ図



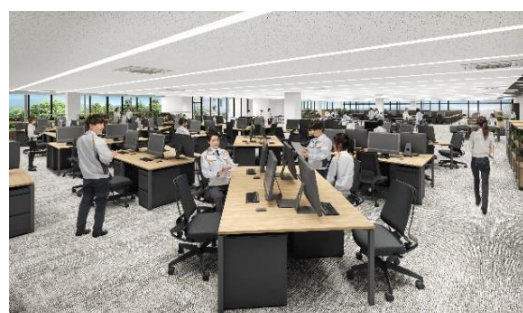
本館(左側)と新技術棟（右側）



新技術棟外観



断面図



執務室

【新技術棟の概要】

所在地	愛知県東海市荒尾町ワノ割 1 番地（事務 2 号館所在地）
延床面積	約 9772 m ²
構造	免震構造 鉄骨造（6 階建て）
竣工予定	2028 年 1 2 月
総投資額	約 100 億円
主な機能	オフィス(4～6 階)、実験室(1～3 階)、その他共用スペース

お問い合わせ先…愛知製鋼株式会社 社長室 広報チーム：052-603-9216